



The Man who turned adversity into a global movement to ban landmines

## 地雷禁止のムーブメントをつくった男

# JERRY WHITE

1997年ボスニアにて。二人の地雷の犠牲になった少年たちと、ダイアナ妃とジェリー・ホワイト氏

## ジェリー・ホワイト来日講演

ノーベル平和賞共同受賞者・アショカ上級フェロー

Nobel Peace Prize Co-recipient / Senior Ashoka Fellow

2017年 9月 2日(土)

15:00-17:00

上智大学 2号館17階 国際会議場1702  
(東京都千代田区紀尾井町7-1)

参加費:無料

対象:社会を変えてゆく活動に関心のある学生は誰でも

言語:英語 ※参加者には事前に日英スクリプトを配布致します

主催:上智大学 Ashoka Japan

September. 2nd (Sat)

15:00-17:00

Sophia University 2-1702  
(7-1 Kioicho, Chiyoda-ku Tokyo)

Free Admission

Target: Students taking interests  
in social changes

Language: English

Registration

URL: [goo.gl/QJdkAV](http://goo.gl/QJdkAV)



Event  
Information



Co-organized by :



上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY





## Jerry White ジェリー・ホワイト

米ボストン市 1963 年カトリック教徒の両親の元に生まれる。

地雷サバイバーネットワーク（後に Survivor Corps）共同創設者。2013 年から 3 年間、米国防務副次官補を務め、その間ヒラリー・クリントン前国務長官が創設した紛争安定化司令室 (Bureau of Conflict and Stabilization Operations) の運営にあたった。戦略立案・連携の責任者として、紛争外交のためのデータ駆動型戦略を展開するために、高等解析とエージェントによるモデル化の手法を導入した。

予知率 80-90% というエビデンスを示すこのモデルを世界各国の政府や企業に導入するため、2015 年米政府を離れ giStrat (Global Impact Strategies) を共同創設し CEO を努めている。現在、米 University of Virginia (バージニア大学) で教授を務めるほか、宗教の名の下に行われる大量殺害を阻止するための国際キャンペーンである「Global Covenant Partners」委員会の共同議長を務めている。

米 Brown University (ブラウン大学) 学部卒業。米 University of Michigan (ミシガン大学) で MBA を、米 Mount Sinai School of Medicine (マウントサイナイ医科大学) で名誉学位を取得した。

大学 2 年の夏休み、クラスメートと共にイスラエルで山歩きをしていた時、足元で何か爆発し、気がついた時には右の膝から下が失っていた。その事故後、それまで何一つ不自由のない恵まれた環境で育った彼の第二の人生がスタートした。

3ヶ月間の治療とリハビリを経て、アメリカへ帰国し、通常通りにブラウン大学を卒業したジェリー。1990年代までの戦争や紛争において、地雷をひとつの武器として使うことに疑問を投げかける人は誰一人いなかった。その現実には違和感を覚え、地雷犠牲者のグローバル・ネットワークの構築を始める。「地雷サバイバーネットワーク（後に Survivor Corps）」として知られるこのネットワークは、それからの戦争・紛争のあり方を大きく変えた。この功績に対し、ジェリーとチームは**ノーベル平和賞**を共同受賞する。また、英国ダイアナ妃が亡くなる前の 1 年半の間、彼女のボスニアへの地雷犠牲者を尋ねる「巡礼」の旅の指南役として大きな役割を担った。

In 1984, Jerry White was hiking with his friends in Israel when he heard a large explosion. Moments later he realized that his right leg was gone. That is the moment his new life started. After 3 months of surgery and rehabilitation, he returned to the US, and completed his bachelor degree. Landmines were still widely used until the 1990s. However, White turned this norm around by launching the International Campaign to Ban Landmines, and through it impacting many policies globally. He is also the co-founder of Survivor Corps, a system to provide artificial limbs, counseling and vocational training to victims of landmines. Jerry White shared the Nobel Prize for Peace awarded to the International Campaign to Ban Landmines in 1997. That same year, he escorted Princess Diana of Wales to Bosnia-Herzegovina, a trip credited with casting an international spotlight on the plight of landmine victims worldwide.

## giStrat ジーストラット — 困難な政策課題の意思決定を手助けする画期的なテクノロジー giStrat の誕生 —

2015 年に創設した giStrat (ジーストラット, Global Impact Strategies の略) の目的は、世界各国の政府、企業、市民セクターのリーダー達の戦略的な意思決定をグローバルな規模で向上させることです。

世界は予測不可能なことで溢れており、何百万人もの生活に影響を与えるような決定をする「専門家」と呼ばれる人達の意見も客観的とは言い難い。そんな状況に鑑みて giStrat は最も賢い選択ができるよう科学的な方法を提案します。

giStrat が目指すのは、人間とコンピューターがお互いに補い合い、人間の洞察がコンピューターの力を借りて活かされることによって、より良い社会を生み出すことです。暴力や争いを減らすために、透明でフラットな協働体制を作る、そのために私たちは**前代未聞のソフトウェア**

**giCompute**※を開発しました。このソフトウェアにより、非常に困難な政策課題においてもよりよい意思決定を手助けすることが可能となりました。早くもビジネス、法律、政治を横断的に分析するアナリストたちに使われ始めています。「ビッグデータ」に頼るのではなく、ゲーム理論や詳細な情報も含め様々な立場の人を考慮したモデルで、シナリオを描きます。医療、気候変動、平和交渉、紛争防止など判断が難しい局面が山積する現在、世界のリーダー達が将来を予測し、人災を防げるよう、経験に基づいた知見を提供する、それが giStrat なのです。

※giCompute : giStrat が開発した予測ソフトウェア。最新のゲーム理論、政治科学、コンピューター技術などを組み合わせたディシジョン・サイエンスに基づき確かな戦略を提案する。**予知率約 90% という正確さを誇る。**

Website: <https://www.gistrat.com/>

### 運営チーム

■ Jerry White ジェリー・ホワイト  
giStrat 共同創設者・CEO

■ Amir Bagherpour, PhD アミール・バガプール  
giStrat 共同創設者・CAO (チーフアナリスト)

**ASHOKA**  
Innovators for the Public

 [japan.ashoka.org](http://japan.ashoka.org)

ASHOKAは、公益のためのイノベーションに取り組む人々の集団です。39カ国にカントリーオフィスを設置し、90カ国で活動をしています。2011年、東アジアで第一の拠点としてASHOKA JAPANが誕生しました。

1980年の発足から続いているASHOKAの核の活動は、「システミック・チェンジメーカー Systemic Changemaker」を見つけ出し「アショカ・フェロー Ashoka Fellow」として認証しASHOKAネットワークに入れこむことです。そして、必要な場合は生活費援助を提供するほか、取り組みの拡大のための法務などの専門家がプロボノ支援に入ります。システミック・チェンジ Systemic Changeとは、社会の問題の現象面の緩和(従来のなチャリティー)ではなく、「現象面の不具合を生み出している根本的な問題を変革する仕組みを実施することによって促される大きいスケールの変革」を意味します。